

< CM紹介リリース >

dビデオ

2013年2月18日

虚と実の溶ける不思議な「映画の夢」のなか。場所はニューヨーク。
すべての時間がとまったような贅沢な瞬間。一人の男はそこで、映画の神様に出会う。
映画を愛してやまない男が、映画の神様と不思議で贅沢な時間を過ごす3つのエピソード

ロバート・デ・ニーロ、松田龍平 出演 『dビデオ』 新CM

dビデオ 新CM 「BAR篇」「THEATER篇」「ROOFTOP篇」 2013年2月22日よりオンエア開始



CMのVTR、写真素材等もございますので、ご希望の方は下記までご連絡頂けると幸いです。
CM紹介以外でのVTR・写真の使用、および2次的使用はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。
掲載、オンエアなどの予定が決定いたしました場合、大変お手数ですが下記宛にご一報頂ければ幸いです。

< 本件に関する問い合わせ先 >

エイベックス・エンタテインメント(株) デジタルコンテンツ宣伝部

担当:河原(kawahara-noriyuki@av.avex.co.jp)・大井・竹内

〒107-0062 東京都港区南青山3-1-30

TEL: 03-5413-8609 / FAX:03-5413-8834



松田龍平 オフィシャルコメント

Q. 今回のCMオファーを受けたときの感想から伺います。

まず、ロバート・デ・ニーロとの共演のオファーを受けたときの感想はいかがでしたか？

松田: このCMは、本当に実現するのかな？と思いました。(笑)

お話を頂いた時、まずロバート・デ・ニーロさんとの共演というのに驚きました。

今回のCMの企画が、英語と日本語で会話をやり取りしているのに、二人の会話が成立する

というもので、絵コンテをみても、このやり取りって本当に成立するのだろうか？と

始めは全くイメージが湧かなかったですね。

でも、撮影しているうちに表情とか雰囲気とかを自分も感じ取ろうとして、

それが不思議だけど成立していて、すごく刺激的でした。

Q. “ロバート・デ・ニーロと実際に共演してみていかがでしたか？緊張しましたか？

松田: 一番最初に、デ・ニーロさんを知ったのは、「ゴッドファーザーPART II」でした。

それから出演作は拝見していて、「タクシードライバー」が好きです。

すごくかっこいいですね。実際にお会いする前は、やっぱり緊張しました。今回は特別な緊張と言うか、

でも、デ・ニーロさんはすごい気さくな方でやりやすかったです。お互い台詞を交わしてる時は、

自然とナチュラルな気持ちになれたので不思議でした。

Q. 撮影前の緊張とは裏腹に、“(ロバート・デ・ニーロとの共演が)嬉しすぎて顔がほころんでしまいそうだ”

とおっしゃっていましたが、実際には嬉しかったですか？

松田: やりとりをしているなかで不意に、「ロバート・デ・ニーロだ！」って気持ちになって、

どこか芝居どころじゃないようになりそうだったので、

監督に「(舞い上がっていたら)ちゃんと注意してください」と話をしていました。(笑)

Q. CMでは、英語と日本語の会話が特徴的でしたが、普段の演技と異なること、気をつけたことはありましたか？

松田: はじめ、絵コンテを頂いてどう成立するのか分からない時に、「これは夢の中の話だ。」と言われて

それがすごくしっくりきたので、英語と日本語でも成立してしまうちょっと不思議な雰囲気を楽しめました。

Q. 撮影の合間にロバート・デ・ニーロとはどんなお話をしていましたか？

松田: ニューヨーク滞在中、撮影の合間に何してるの？みたいな話をしましたね。

Q. このCMを楽しみにしている視聴者の方々へのメッセージをお願いします。

松田: 撮影が終わって、デ・ニーロさんと共演できたことで僕自身興奮しているんですけど、

出来上がりも面白くなっていると思います。

不思議な雰囲気、他には無いCMになるんじゃないかと思っています。

僕も楽しみにしていますし、みなさんも楽しみにしていて下さい。

ロバート・デ・ニーロ オフィシャルコメント

こんにちは。 ロバート・デ・ニーロです。

今回、dビデオのコマーシャルに出演することを決めたのは、この企画が私の映画への愛情と同じものを共有していると感じたからです。

最高の映画は決して色褪せず、時代に関係なく人々に感動を与えてくれます。そんな映画に出会えたときは、素晴らしい発見ですよ。

今は、多くの皆さんがスマートフォンで映画を見ているのではないのでしょうか。数年前は、そんなことは私にとってクレージーに思いましたが、とても素晴らしい事だと思います。モダンテクノロジーが境界を取り払い、もっと多くの人々にこれまで以上に沢山の映画を見させてくれることは、世の中のアーティストにとっても素晴らしい進歩だと思います。

皆さんがこのdビデオのCMを楽しんでくれることを、そして、新たな映画との出会いが続くよう、心から願っています。

ロバート・デ・ニーロ

Hello. This is Robert De Niro.

I am appearing in the docomo video service ads because they share mylove for great movies.

The best films never grow old and can touch people in a timeless way. It's a wonderful discovery when you encounter such movies.

I know that many of you watch films on your smartphones. This seemed crazy to me a few years ago but now I think it is great. Modern technology breaks down barriers and allows more people to view more movies than ever before and that is a wonderful development for artists everywhere.

I hope you enjoy these commercials and continue to discover new movies.

Robert De Niro

Q1: CM撮影の感想をお願い致します。

素晴らしい人々と良い時間を過ごせた。コマーシャルの撮影ではないようだった。

Q2: 松田龍平さんとの共演はいかがでしたか？

残念ながら、ブラックレインは見なかったんだが、龍平が松田優作のご子息と聞いて、共演できて楽しかったよ。日本語と英語でのセリフのやりとりは、興味深い経験だったよ。

Q3: 日本の映画で好きな作品はありますか？ 作品名と理由を教えてください。

羅生門、七人の侍、愛のコリーダ

Q4: 今まで見た日本映画で好きな監督はどなたですか？

黒沢明

現場レポート

今回のCMは、2012年12月下旬にニューヨークで3日間の撮影を行った。

撮影初日は、「BAR篇」の撮影からスタート。

ニューヨークのマンハッタンに程近い、実在するBARで撮影セットを組み、撮影を開始した。

松田龍平が先に、その後すぐにロバート・デ・ニーロがセットに入り、二人がモニターに映し出されると、その二人の存在感にスタッフも圧倒され現場ではため息がもれた。撮影は順調にスタートし、テイクを重ねていく度に少しずつ二人の距離も縮まり、日本語と英語のセリフのやり取りも、途中、デ・ニーロもアドリブを効かせたりと不思議な会話のやり取りや二人の表情の作り方で少しずつ不思議な夢の中の世界が作られていった。

翌日には、「ROOFTOP篇」の撮影を実施。クライスラービルが見えるチューダーシティーの路上とマンションの屋上で撮影。チューダーシティーの路上で、デ・ニーロが「映画の神様」として登場するシーンの撮影が開始されると、近くを通りすぎたニューヨーカーも「ロバート・デ・ニーロよ！」と驚いて撮影を見学していた。

その後、屋上でデ・ニーロと松田の2ショットのシーンを開始。

デ・ニーロ演じる、〈映画の神様〉が思わず惚れてしまう『極道の妻たち』のかたせ梨乃の「GOKUTSUMA」の発音が難しかった様で、松田がデ・ニーロに「GOKUTSUMA」の発音を教えるなど、この日も和やかに撮影が終了した。

撮影最終日、デ・ニーロが生まれ育ったマンハッタンのトライベッカの映画館で撮影を実施。

この映画館は、デ・ニーロの所有している劇場で、アメリカ同時多発テロで被害を受けた復興のために、自身が主催している「トライベッカ映画祭」でも使用される劇場である。

最終日にもなると、二人の距離はさらに縮まり、「NY滞在中は何をしていたの？」などデ・ニーロが松田に話しかける一幕も。

撮影中は、カットがかかる度に監督と意見を交わし、二人の奇妙な会話やさりげない動作が虚と実の溶ける不思議な「映画の夢」のなかで作られて行き、CMだからこそその贅沢な時間が過ぎていった。

ロバート・デ・ニーロ 日本企業のCM出演について

日本企業のCMに出演するのは、2009年の「スバル・レガシィ」(富士重工業)以来2回目。

監督 関口 現 プロフィール

今、日本で一番忙しいCMディレクターのひとり。

ACC CMフェスティバル グランプリ、カンヌ国際広告祭 銀賞はじめ、国内外での受賞歴多数。

カメラマン フレッド・エルムス について

オデヴィッド・リンチの代表作“ブルーベルベット”の撮影監督であり、現在も活躍中のハリウッド大御所カメラマン。

美しい画作りで定評があり、今回のCM上の“映画のワンシーン”のような映像は彼の真骨頂。

CM撮影期間中のロバート・デ・ニーロと松田龍平のエピソード

松田龍平とスタッフが、滞在中にロバート・デ・ニーロが経営しているレストランに予約をしたが、ニューヨークでも人気のレストランの為予約がいっぱいで行く事が出来なかった。

その事をデ・ニーロが聞きつけ、デ・ニーロ自らが松田龍平のためにレストランを予約。

さらに、お会計をしようとするウエイターから「デ・ニーロさんからすでにお支払い頂いています」と告げられるという、なんとジェントルマンな〈映画の神様〉からの滞在中のプレゼントがあり、

松田龍平も驚きを隠せなかった。

レストランは「Tribeca Grill」

CMカット表

別紙ご参照ください。

「dビデオ powered by BeeTV」 サービスについて

< サービス概要 >

2011年11月18日よりドコモが開始した、スマホ向けの定額制動画配信新サービス。(<http://video.dmkt-sp.jp/>)
 モバイル動画配信サービスの中で日本最大のタイトル提供数を誇り、
 国内外の映画、ドラマ、アニメ、音楽、BeeTVまで、約7,000タイトル、約57,000コンテンツが
 定額525円(税込)/月ですべて見放題。

2013年1月30日から、サービス名を「dマーケット VIDEOストア」から「dビデオ」に変更。
 3月からは、スマホ・タブレットの1契約で「テレビ」、「タブレット」などのデバイスに対応予定。
 追加料金なしで、家でも外でもいつでも「dビデオ」をお楽しみいただけます。
 2012年1月14日時点で、会員数370万人突破。

< アクセス方法 >

ドコモのスマホ・タブレットから

「dマーケットアプリ」搭載機種 dマーケット>dビデオ powered by BeeTV

「dマーケットアプリ」非搭載機種 dメニュー>dマーケット>dビデオ powered by BeeTV

< マルチデバイス対応 >

・2月19日時点のデバイス

「スマホ」「3G/xiタブレット」「テレビ(HDMI対応端末でのテレビ出力のみ)」の3デバイス

・3月上旬以降順次対応するデバイス:

「スマホ」「3G/xiタブレット」「テレビ 2」「dtab/Wi-Fiタブレット」の4デバイス

好きなデバイス最大5台までお楽しみ頂けます。

各デバイスにより視聴コンテンツが一部異なります。

複数のデバイスで同時にコンテンツを視聴することはできません。

「dビデオ」 TVCM スタッフクレジット

CD:高崎 卓馬(電通) / 原野 守弘(株式会社 もり)

Pプロデューサー:和田 耕司(電通)

CMプランナー:高崎 卓馬(電通)

コピーライター:小山 佳奈(電通)

AD:戸田 宏一郎(電通)

制作会社:スプーン

プロデューサー:大桑 仁、小野 敬子(スプーン)

ディレクター:関口 現(ラインバック)

カメラマン(DP):Fred Elmes(フリー)

ライトマン(ギャファー):Andy Day(フリー)

特機(グリップ):Tim Smythe(フリー)

スタイリスト:ロバート・デニーロさん:Aude Bronsan-Howard(フリー)

松田さん:坂元 真澄(The VOICE)

ヘアメイク:ロバート・デニーロさん:ヘア Jerry Popolis(フリー) / メイク Carla White(フリー)

松田さん:須賀 元子(フリー)

アニメ/CG:宮武 泰明、茂木 光典(オムニバスジャパン)

現地制作会社:Andy Grasheim / 中本良子(GREENHOUSE)

キャスティング:八木 隆子、天谷由紀子(GPT) / 河野 祐史、切明畑 力(電通キャスティングアンドエンタテインメント)

ナレーター:タレント本人(松田 龍平)